

総額364億円を投入

2001年度の鉄軌道事業設備投資計画

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、鉄軌道部門で2001年度に総額364億円の設備投資を行い、輸送力増強をはじめ輸送サービスのより一層の向上に努めてまいります。2001年度設備投資計画の主な内容は下記のとおりです。

記

《輸送力増強対策》226億円

東横線の抜本的な輸送力増強対策である「目蒲線（現目黒線）目黒～多摩川園（現多摩川）間改良工事および東横線多摩川園～日吉間複々線化工事」（参考図1）においては、昨年9月26日から目黒駅を經由して目黒線と営団南北線および都営三田線との相互直通運転を、さらに本年3月28日から営団南北線を經由した埼玉高速鉄道線との相互直通運転を開始し、首都圏における新しい鉄道ネットワークが誕生しました。本年度は引き続き1995年11月に着手した目黒～洗足間立体交差工事を進めるとともに、東横線複々線化区間では、昨年4月に着手した武蔵小杉～日吉間線増工事を進めます。

田園都市線では、混雑緩和を図るために、東横線複々線化事業により整備された大岡山・目黒経由の都心ルートを活用した「大井町線大岡山～二子玉川園（現二子玉川）間改良工事および田園都市線二子玉川園～溝の口間複々線化工事」（参考図2）を進めています。昨年11月に大井町線改良区間を「大岡山～二子玉川園間」から「大井町～二子玉川間」に事業計画を変更し、同区間を急行運転可能な施設に改良するとともに、田園都市線方面から都心へ向かうルートとして渋谷経由のほかに大岡山・大井町経由が加わることとなり、田園都市線の混雑緩和が当初計画よりも図れるものと考えています。本年度は、1996年に着手した溝の口駅改良工事（下り線）などに加え二子玉川～溝の口間線増工事、旗の台駅改良工事等を進めます。

なお、両複々線化工事とも「特定都市鉄道整備事業計画」の認定を受け、「特定都市鉄道整備積立金制度」を活用しています。このうち「目蒲線改良・東横線複々線化工事」につきましては1997年度に積み立てを終了し、1998年度より取り崩しを始めています。

《運転保安と安全対策》 78 億円

保安面では、目黒線目黒～洗足間立体交差工事を進めており、この工事が完成しますと18か所の踏切道が解消されます。また、東横線日吉～綱島間立体交差工事においては、昨年度上り線の高架化を実施したことで、この区間の高架化が完了し、4か所の踏切道を解消しました。

世田谷線につきましては、昨年度実施したホーム嵩上げ工事の本設化工事などを実施します。

《駅施設の改良等サービス改善》 60 億円

バリアフリー対策として都立大学駅、綱島駅、宮前平駅、鷺沼駅、長津田駅等20駅に、エスカレーター22基・エレベーター27基を設置します。（参考表）

さらに妙蓮寺駅、自由が丘駅等にはスロープを設置します。

また、サービス改善工事として妙蓮寺駅、あざみ野駅等に旅客トイレを新設するなどの工事を実施します。

以 上

(参考表) エスカレーター、エレベーター設置計画

(単位：基)

		2000年度		2001年度		
		エスカレーター	エレベーター	エスカレーター	エレベーター	
新	渋谷駅		1	2		
	祐天寺駅		2			
	学芸大学駅	1	1	3		
	都立大学駅				2	
	多摩川駅	3				
	日吉駅	2				
	綱島駅			4	2	
	大倉山駅				2	
	白楽駅				1	
	東白楽駅				2	
	不動前駅				1	
	三軒茶屋駅	2		2		
	駒沢大学駅	1		1	1	
	桜新町駅		1		1	
	用賀駅		1		1	
	梶が谷駅				2	
	宮崎台駅		2			
	宮前平駅				2	
	鷺沼駅			4	2	
	あざみ野駅		2	2		
	江田駅				2	
	市が尾駅		2			
	設	藤が丘駅	2			
		青葉台駅	2	2		
		田奈駅		2		
		長津田駅			4	2
		つくし野駅				2
すずかけ台駅			2			
南町田駅			2			
つきみ野駅			2			
中延駅					2	
雪が谷大塚駅		2	1			
既設	64	29	79	52		
年度末設置数	79	52	101	79		